



静電気防止に関する注意事項

この付録では、モジュールをシャーシに取り外しおよび取り付けるときの ESD の防止に関する情報を提供します。

静電気防止用アース ストラップの装着

静電破壊は、モジュールや FRU の不適切な取り扱いにより発生するもので、故障または間欠的な障害を引き起こします。モジュールには、金属製フレームに固定されたプリント基板があります。

Electromagnetic Interference (EMI; 電磁干渉) シールドおよびコネクタは、フレームを構成する部品です。金属フレームは、ESD からプリント基板を保護しますが、モジュールを扱うときには必ず、静電気防止用アース ストラップを着用してください。

静電破壊を防ぐために、次の注意事項に従ってください。

- 静電気防止用リストストラップを肌に密着させて着用してください。静電気防止アース ストラップにはバナナ プラグ、金属製パネクリップ、またはワニロクリップ付きのものがあります。すべての Catalyst 6500 シリーズ シャーシでは、前面パネルにバナナ プラグ コネクタが備え付けられています。これは、コネクタの横のアース記号で識別されます。
 - 旧型の Catalyst 6500 シリーズ シャーシでプラスチック製のバナナ プラグ コネクタが備え付けられている場合は、付属の静電気防止用ストラップ（金属製クリップ付き）またはワニロクリップ付きの静電気防止用ストラップを使用することを推奨します。
 - 新型の Catalyst 6500 シリーズ シャーシに、バナナ プラグ コネクタ（穴の横のアースの記号によって識別されます）用の塗装されていない金属の穴が開けられている場合は、ユーザ側で用意したバナナ プラグ付きの静電気防止用アース ストラップを使用することを推奨します。
- ほとんどの FRU に付属している使い捨ての静電気防止用リスト ストラップまたはワニロクリップ付きの静電気防止用リスト ストラップを使用する場合は、静電気防止用リスト ストラップに適切なアース ポイントを確保するためにシステムのアース ラグをシャーシに取り付ける必要があります。



(注) このシステム アースは、NEBS アースとも呼ばれます。

- シャーシに NEBS システム アースが取り付けられていない場合、システム アース ラグおよびアース線を取り付ける必要があります。手順については、オンラインの『Catalyst 6500 Series Switches Installation Guide』を参照してください。

■ 静電気防止用アースストラップの装着

システムのアースラグを取り付けたら、次の手順で、静電気防止用リストストラップを適切に取り付けます。


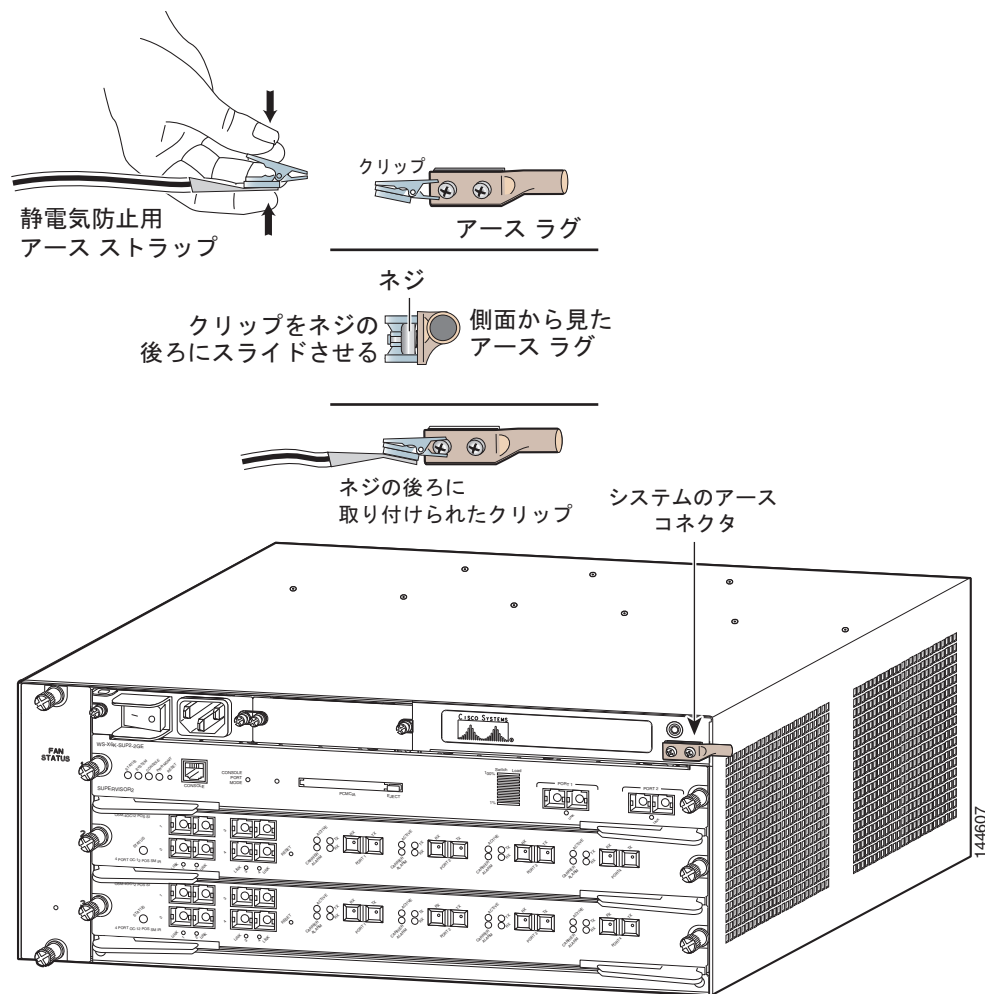
- ステップ 1** 次のように静電気防止用リストストラップをしっかりと肌に密着させて着用してください。
- a. FRU に付属の静電気防止用リストストラップを使用する場合は、リストストラップのパッケージを開き、静電気防止用リストストラップの包装を開けます。手首に黒の導体ループを巻き、肌にしっかりと密着するように、ストラップを締めます。
 - b. ワニロクリップ付きの静電気防止用リストストラップを使用する場合は、パッケージを開いて、静電気防止用リストストラップを取り出します。リストストラップを巻く位置を決めて、肌にしっかりと密着させてください。
- ステップ 2** 静電気防止用リストストラップのバネクリップまたはワニロクリップをつかんで、ラックの塗装されていない金属部分に一瞬クリップを接触させます。
- 蓄積された静電気をラック全体に安全に散逸させるために、クリップを塗装されていないラックレールに接触させることを推奨します。
- ステップ 3** 次のように、バネクリップまたはワニロクリップをアースラグのネジに取り付けます (図 C-1 を参照)。
- a. FRU に付属の静電気防止用リストストラップを使用する場合は、バネクリップを強くつかんであごを開き、システムのアースラグのネジ頭の側面に取り付け、バネクリップのあごがラグのネジ頭の後ろで閉じるように、バネクリップをラグのネジ頭上でスライドさせます。
-  (注) バネクリップのあごは、直接ラグのネジ頭またはラグのバレルをはさみ込めるほど広くは開きません。
- b. ワニロクリップ付きの静電気防止用リストストラップを使用している場合は、システムのアースラグのネジ頭、またはシステムのアースラグバレルに直接ワニロクリップを取り付けます。

図 C-1 静電気防止用リストストラップクリップのシステムアースラグネジへの取り付け



さらに、モジュールを取り扱う際には、次の注意事項に従ってください。

- フレームを取り扱うときは、ハンドルまたは端の部分だけを持ち、プリント基板またはコネクタには手を触れないでください。
- 取り外したコンポーネントは、基板側を上向きにして、静電気防止用シートに置くか、静電気防止用容器に入れます。コンポーネントを工場に返却する場合は、ただちに静電気防止用容器に入れてください。
- 金属製フレームからプリント基板を取り外さないでください。



注意

安全のために、静電気防止用ストラップの抵抗値を定期的にチェックしてください。抵抗値は 1 ~ 10 MΩ でなければなりません。

■ 静電気防止用アースストラップの装着